

しんまちだよりネットワーク版

地域のネットワークづくりと地域課題

☆「高齢者地域支援連絡会」を開催しました。

地域包括支援センターの業務には、地域の高齢者がより暮らしやすくなるための地域のネットワークづくりのことがあります。「高齢者地域支援連絡会」は年に数回、地域に住まわれている方、商店や金融機関、学校などに勤務されている方にも参加していただき開催しています。この連絡会は、主にネットワークづくりを目的にしています。地域包括支援センターと地域の様々な方々が知り合うことで、互いに相談しやすい関係を作り、時には協力できないかを考えます。また、地域にある課題やこんなものがあたらいいな、など要望や意見を伺っています。皆さんから出た意見や要望は市役所へ報告し、市の政策形成のための意見となります。コロナ禍でしばらく開催できていませんでしたが、3年ぶりに10月に開催いたしました。



pixta.jp - 3

☆今回の連絡会で出された意見

今回の連絡会は約20名の方に参加いただきました。事前アンケートでは①認知症が疑われる方の対応、②安否確認に関することの2点について困っている、特に認知症の方の対応は、家族以外の介入に限界があり、どうしたらいいか悩むと多くの方が回答していました。今後、ますます高齢化が進んでいく中で、地域でできることは

「見守り、声かけ、見守っている人同士の協力」です。ですが、地域での対応が難しいと感じたら、地域包括支援センターに早めに連絡していただくこととお話ししました。中には、地域包括支援センターに相談しても状況が改善されなかったとの意見もありました。地域の皆様には心配な状況でも、問題の解決には時間を要する場合があります。市役所などと連携し対応しますが、地域の皆様には寛容な気持ちで見守りをしていただくことのご協力をお願いしました。



☆地域の皆さんが感じている課題・不安



今回の「高齢者地域支援連絡会」では、長引いたコロナ禍で地域のつながりが途切れてしまった、高齢者の心身に少なからず影響を与えている、認知症高齢者の対応をどうしていくか、という課題が出ました。それに対し、それぞれ参加された方の立場から「高齢者を支えるために何ができるか」との声が多くありました。この小さなエリアでお互いがつながり、支えあう仕組みを作ることは、高齢者だけでなく子供や障害者、一般の人たちも暮らしやすい地域づくりの第一歩ではないかと考えています。